

第10回教育委員会会議録

- 1 期 日 平成26年8月7日(木)
- 2 場 所 壮警町地域交流センター 2F研修室1・2
- 3 開 会 午後4時00分
- 4 閉 会 午後4時43分
- 5 出席者 委 員 長 松 永 美 継
委員長職務代理 金 子 祐 一
委 員 濱 田 美和子
委 員 成 澤 敏 勇
教 育 長 田 鍋 敏 也
生涯学習課長 小 林 一 也
生涯学習課主幹 河 野 圭
- 6 傍聴者 なし

議事大要 別紙のとおり

| | |
|-------|---|
| 松永委員長 | <p>略</p> <p>次に、「議案第25号 平成27年度から使用する小学校用教科用図書の採択について」を議題とします。説明を求めます。</p> |
| 小林課長 | <p>－「議案第25号 平成27年度から使用する小学校用教科用図書の採択について」説明を行った。－</p> |
| 田鍋教育長 | <p>教科用図書採択協議会に参加した者として、課長から報告を受けたとおりですが、若干補足をさせていただきます。前々回の協議会でも手続き等は簡単にご説明をさせていただいていたところですが、平成26年5月21日に北海道教育委員会教育長が定めた平成27年度から使用する小学校用教科用図書採択基準に基づいた手続きを協議会で行った中で、最終的に調査委員会の報告を受けて採択の会議を行い、決定されたものが、この一覧であるということであります。各種目、教科毎に出版社から出ている見本の本を見比べながら小委員会から報告をいただいた上で、採択されております。私も基本的には現在使用されている教科書、そして、道内近隣で使われているものを中心に、教科書に目を通して出席し、必要に応じて質問をした中で、他の教育長の質問をいただきながら、まとめの作業を行い、1社採択の協議を行って選定されたということであります。結果的には、書写の教科用図書が、前は教育出版のものを使っておりましたが、今回は、教材の関連もあるため、国語と合わせた方がいいだろうという意見があり、国語と同じ光村図書を採用するような結果になりました。</p> |
| 松永委員長 | <p>そういうような経緯と言うことでご説明いただきましたが、これが第10採択地区において採択された教科書ということですね。会社によって主張する部分が、社会の歴史は特にそうですが、どのような部分を強調して、事実という部分では変わることはないと思いますが、採り上げ方によってニュアンスが違ったりする部分があるものもあつたりする、そういう部分の配慮といいますか、考慮しながら採択をしていくということで、先程の報告書でそれぞれ担当したんですね。</p> |
| 成澤委員 | <p>私は家庭科でした。初めて参加させていただきました。2日間にかけて協議するんですが、その2週間ほど前に最初の会合があり、その時点で自分の担当する教科書を持ち帰らせていただいて、読んで勉強してくる期間が2週間ほどありまして、その後2日間ありました。各教科によって、担当者がいらっしゃいます。家庭科の場合は、私も含めて3名でした。少ない方です。家庭科の場合は、開隆堂ともう一社の2社でした。他のところで多いところは多く、例えば国語や社会や算数は、10数人というところもありました。会社数が多く、1年から6年まである教科だと、持ち帰るときに段ボールで持ち帰らなければいけないくらいのをそれぞれが。教頭先生や校長先生が主ですが、必ず教科毎に一人、私のようなPTAの関係者や校長先生を退職された方が何人か入るという形になっておりました。あくまでも決めるのは協議会の方で、調査委員会では判断しないというスタンスでした。</p> |
| 松永委員長 | <p>意見をまとめ、判断材料となる資料を作るということですね。</p> |
| 田鍋教育長 | <p>その前に、北海道が定めた参考資料というものがあって、教科用図書のそれぞれの特色はどのようにになっているか、北海道や胆振に関する教材は何ページに載っているだとか全部あり、これも参考にしております。こういうものも全て目を通して、どういった特色、子どもたちが興味関心を持ってもらえるかということを中心にして、優劣を付けるような調査は、調査委員会ではしていません。特色をそれぞれ挙げていただいて、その中から</p> |

| | |
|------------------------|---|
| <p>松永委員長 田鍋教育長</p> | <p>くみ取って採択をしていくことになります。調査委員の皆様は大変でしたし、ご足労いただいたと思っています。</p> |
| <p>松永委員長</p> | <p>道内のそれぞれの地区で何が採択されたか、一覧にはなっていないのでしょうか。なっています。参考資料として配ってもいいんですが、道教委のホームページでも公開しております。だいたい、うちで使われているものは、他のところでも採択されているものが多いです。室蘭、苫小牧と一部違うところがありますが、概ね同じものが使われております。算数と理科が室蘭、苫小牧と違いますが、今回、どのような採択になっているかは、まだ情報をいただいております。音楽についても、国歌の取扱いが違います。こちらで採択している教育出版の最終ページに近いところに国歌が扱われていますが、この教科書は国歌の歌詞の意味がしっかり書かれています。高学年になれば、さざれ石の写真まで載っていて、もう一社の方は国歌の簡単な意味しか載っていません。そういう意味では、私の私見ですが、国歌を歌ってもらうように指導していく観点からすると、今使っている教育出版の方が、そういう一面があると思っています。</p> <p>－採択された教科用図書の見本を実際に閲覧する－</p> |
| <p>松永委員長</p> | <p>それでは、議案第25号を採決します。本案は、原案のとおり決することにご異議ありませんか。</p> <p>－はいという声多数あり－</p> |
| <p>松永委員長</p> | <p>本案は、原案のとおり決することとしました。</p> <p>閉会を宣す。</p> |